

## 日銀短観

### (1) 日銀短観について

日銀短観とは

正式には、日本銀行短期経済観測と呼ばれ、TANKANは英語にもなっているくらい、国際的にも重要な統計。

企業経営者へのアンケート調査で、アンケートをもとにD I（ディフュージョン・インデックス：回答者の構成比を示す指標）で表される。

(例)業況判断D Iの場合

業況判断D I

=景気が良いと答えた企業数の割合(%) - 景気が悪いと答えた企業数の割合(%)

業況判断D Iはさまざまな企業の業種、規模に分けて作成されている。

①大企業製造業②大企業非製造業③中小企業製造業④中小企業非製造業の4つに分けて分析することが多い。

### (2) 分析のポイント

①水準を見る。ゼロを越えていれば、景気が良いことを示し、マイナスなら景気が悪いことを示す。

②方向を見る。グラフが上向きになっていれば、景気が良くなっていることを示し、下向きなら悪くなっていることを示す。

### (参考)

インターネットからデータのダウンロードする場合のファイル形式

①エクセル形式

②CSV形式（カンマで区切ってある。自動的にエクセル形式で表示される）

③テキスト形式

④TAB形式

テキスト形式のデータをエクセルに持ってくるには、一度テキストファイルをダウンロードして、エクセルを起動してから開く必要がある。

### (3) 日本銀行ホームページからのダウンロードの方法

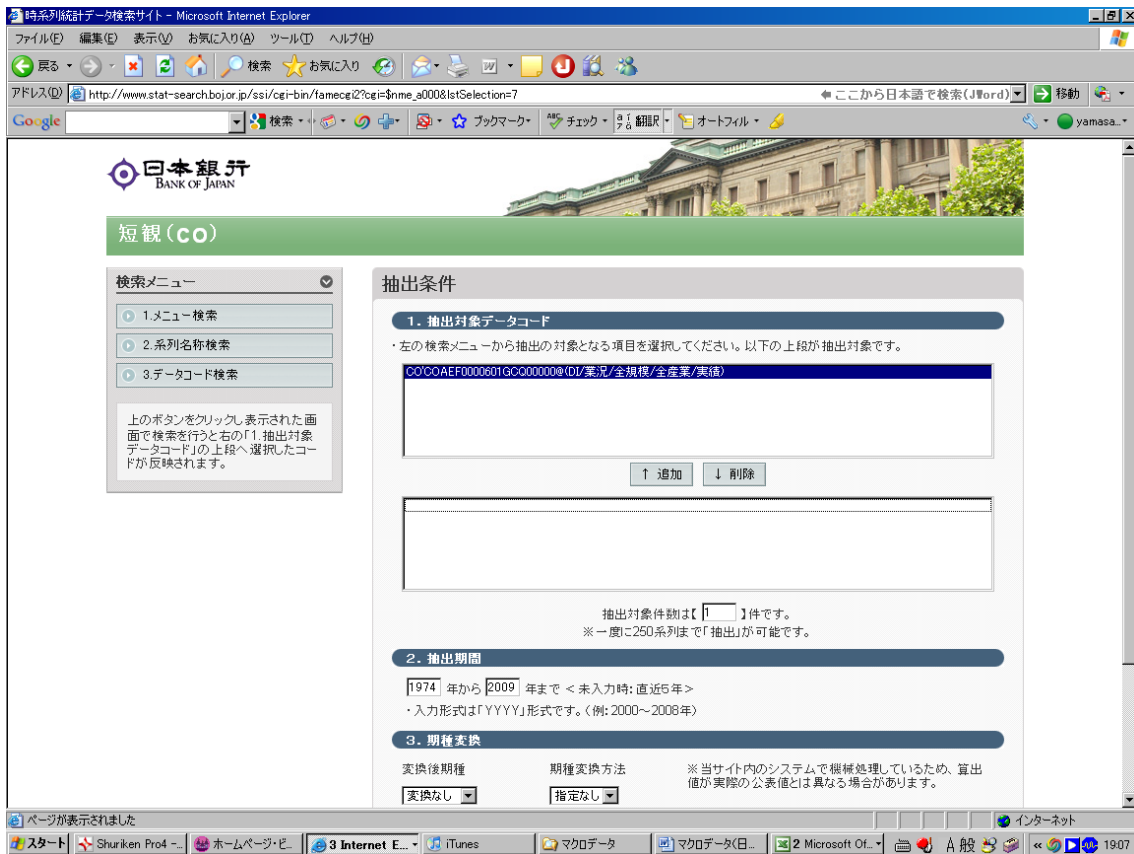
日銀ホームページ→右側の列「統計」→「短観」→「時系列データ」



#### 短観

検索メニュー→1. メニュー検索→「判断項目」を選んで「展開」→「判断項目(D. I.)」を選んで「展開」→業況(「良い」-「悪い」)を選んで「展開」→全規模合計を選んで「展開」

DI業況／全規模／全産業／**実績** を選んで「決定」



1. 抽出データコード → すでに CO'COAEF0000601GCQ00000@DI/業況/全規模/全産業/実績が入っているはず。

2. 抽出期間 →1974 から 最新年

3. 期種変更

「抽出」を押す。



何も変えずにダウンロードを押すと「ファイル名」が出てくる

## データのダウンロードの方法

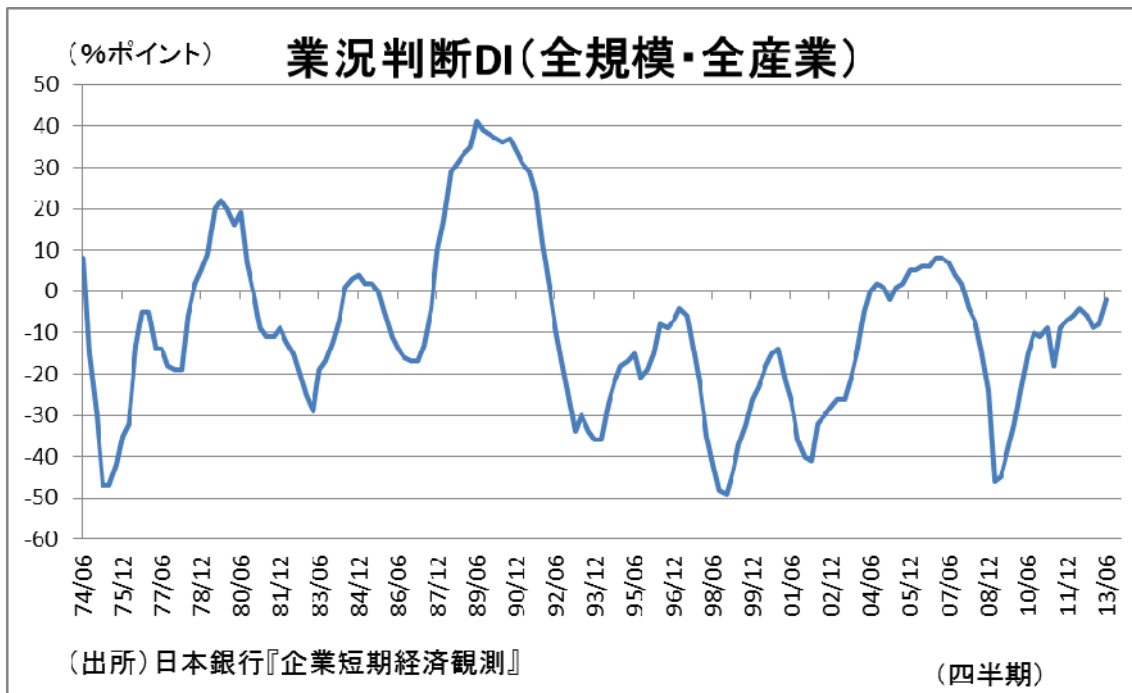
### ・ダウンロード

「ファイル名」をマウスで「右クリック」(マウスの左右のキーのうち右側を1回クリック)し、メニューから「対象をファイルに保存」を選択する。次に、ファイルの保存先を聞いてくるので、適当なディレクトリ(例えばデスクトップなど)を指定して保存する。

### ・ エクセルを起動して CSV ファイルを開く

(注意)

横軸の期間の表記は、「軸の書式設定」→「表示形式」で変える。ユーザー定義を選んで、ボックスに yy/mm と入力する。



・課題：ある産業（鉄鋼など）と全産業のDIを一つのグラフに描いて比較してみる。(4)

日本銀行のホームページから取れる指標

公定歩合

無担保コール・平均

マネーサプライ (M2 + CD)

マネタリーサーベイ

企業物価指数 (前年同月比)

国際収支統計

日経平均株価

日銀短観 (業況判断DI)